



筑波大学体育専門学群

保健体育理論に関する論述試験〈2022 年度入試〉

解答例

保健編

問題 1 医療保険のしくみと保健活動に関する次の問いに答えなさい。

問題 1-① わが国の医療保険のしくみについて、「医療費」、「保険料」、「医療機関」の用語を用いて説明しなさい。(150 字以内)

問題 1-① 解答例

医療保険とは、病気やけがの際に、経済的な理由で十分な医療が受けられないことがないように、少ない自己負担で、医療を受けられるようにするしくみである。皆であらかじめお金を出しあって積み立てた保険料と税金の一部が補助金として財源に充てられ、その財源の中から、患者負担分を除いた医療費が医療機関に支払われる。(150 字)

問題 1-② 国際機関による保健活動の役割を述べなさい。また、保健活動を行っている国際連合の機関の名称を 2 つ挙げ、それぞれの活動内容を述べなさい。(250 字以内)

問題 1-② 解答例

国際機関による保健活動は、世界の健康水準の向上や格差の是正にむけ、開発途上国の抱える諸問題をはじめ、一国の努力だけでは解決できない世界規模の問題を解決するために行われる。国際連合には、代表的な機関として、WHO（世界保健機関）と UNICEF（国連児童基金）がある。前者は、国際連合の保健衛生分野を中心として受け持ち、各国の保健活動に対する技術援助、感染症や薬物乱用の対策、衛生統計の作成、医薬品の供給などを行っている。後者は、開発途上国の子どもの栄養改善や疾病予防などの活動を行っている。(244 字)

体育編

問題 2 スポーツの始まりと変遷について、次の問題に答えなさい。

問題 2-① 近代スポーツはいつ、どこで始まり、どのような特徴があったかを説明しなさい。(150 字以内)

問題 2-① 解答例

近代スポーツは、19 世紀にイギリスの文化として始まった。その担い手は、学校の生徒・学生たちであり、限られた時間と場所でできるようルールが整備され、安全への配慮も忘れずルールで保証された。その結果、体を強くするだけでなく男らしさや奉仕の精神という心も育むすばらしい文化であると社会から高く評価された。(149 字)

問題 2-② 近代スポーツから国際スポーツへ発展するきっかけとなった出来事を簡潔に説明しなさい。その上で、日本生まれの国際スポーツを例として、近代化と国際化の経緯を説明しなさい。(250 字以内)

問題 2-② 解答例

イギリスで始まった近代スポーツが国際スポーツに発展するきっかけとなったのは、フランス人のクーベルタンによる IOC（国際オリンピック委員会）結成とオリンピックの開催である。日本生まれの国際スポーツとして代表的なものは柔道である。柔道は、明治期、嘉納治五郎が、それまで行われていた柔術を近代社会にあうように大きく改造し、その後、柔道修行者が海外において熱心に指導活動をおこなったことで世界に広まった。その結果、1951 年に国際柔道連盟が設立され、1964 年のオリンピック東京大会から正式種目となった。(248 字)

※問題は、受験生からの聞き取り調査により記載しています。

※解答例は、大修館書店の「最新高等保健体育」「現代高等保健体育」を参照し、体育進学センターが作成しました。

筑波大学 体育専門学群

合格実績

2021 年度入試 **47 名**

2020 年度入試 **37 名**

2019 年度入試 **46 名**

解答速報についてのお問い合わせは、体育進学センター（入試解答速報係）までどうぞ。

— 電話：0120-701-707（フリーダイヤル）

メール：info@e-taishin.com